

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第14週（令和8年3月30日～令和8年4月5日）

〇県内で麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。

2026年1月以降、神奈川県内では麻疹患者が20例(令和8年4月2日現在)報告されています。

麻疹ウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻疹と思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻疹の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻疹の予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第14週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(3)
三類感染症		
四類感染症		A型肝炎(1), レジオネラ症(1)
五類感染症	水痘（入院例）(1), 百日咳(1)	アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(1), 水痘（入院例）(1), 梅毒(2), 百日咳(6)

【定点把握対象疾患】

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	0	1	1	0	1	13	0	0	0	0	0	0
	B	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0
	D	2	1	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0
内科	E	0	5										
	F	1	1										
	G	0	4										
	合計	4	13	3	0	2	21	1	0	0	1	0	0
	定点当たり	0.57	1.86	0.75	0	0.50	5.25	0.25	0	0	0.25	0	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	1
	I	0	0
	合計	0	1
	定点当たり	0	0.5

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

疾患名	今週	先週
1 感染性胃腸炎	21	19
2 新型コロナウイルス感染症	13	7
3 インフルエンザ	4	21

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	91
	B	35
	C	71
	D	47
内科	E	45
	F	13
	G	33
	合計	335
	定点当たり	47.86

茅ヶ崎市保健所保健予防課

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

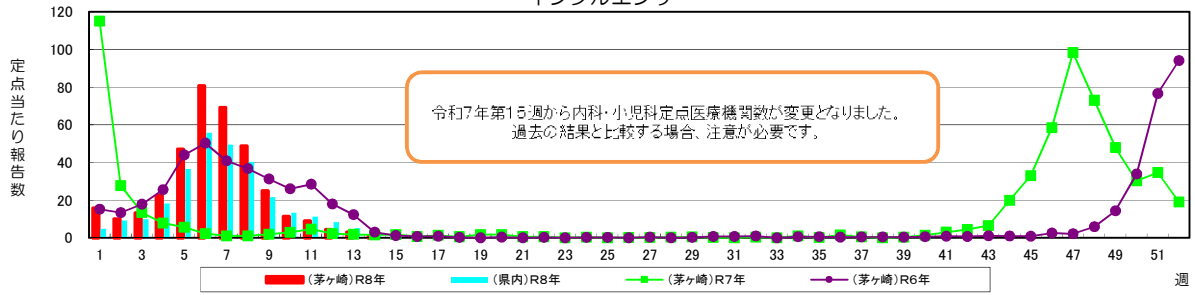
疾病名	11週	12週	13週	14週	前週比
定点医療機関数	4	4	4	4	
RSウイルス感染症	1	0	0	3	↑
	0.25	0	0	0.75	
咽頭結膜熱	0	0	0	0	→
	0	0	0	0	
A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	5	5	5	2	↓
	1.25	1.25	1.25	0.50	
感染性胃腸炎	16	23	19	21	↑
	4.00	5.75	4.75	5.25	
水痘	0	2	3	1	↓
	0	0.50	0.75	0.25	
手足口病	0	0	0	0	→
	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0	0	1	0	↓
	0	0	0.25	0	
突発性発しん	0	1	2	1	↓
	0	0.25	0.50	0.25	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	→
	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	2	0	0	0	→
	0.50	0	0	0	
定点医療機関数	2	2	2	2	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	1	↑
	0	0	0	0.50	
定点医療機関数	7	7	7	7	
インフルエンザ	62	30	21	4	↓
	8.86	4.29	3.00	0.57	
新型コロナウイルス感染症	15	16	7	13	↑
	2.14	2.29	1.00	1.86	
急性呼吸器感染症（ARI）	480	398	420	335	↓
	68.57	56.86	60.00	47.86	

※急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

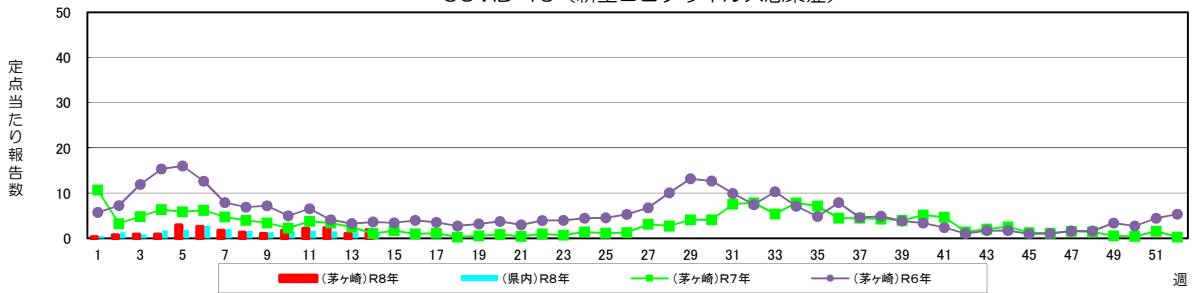
※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

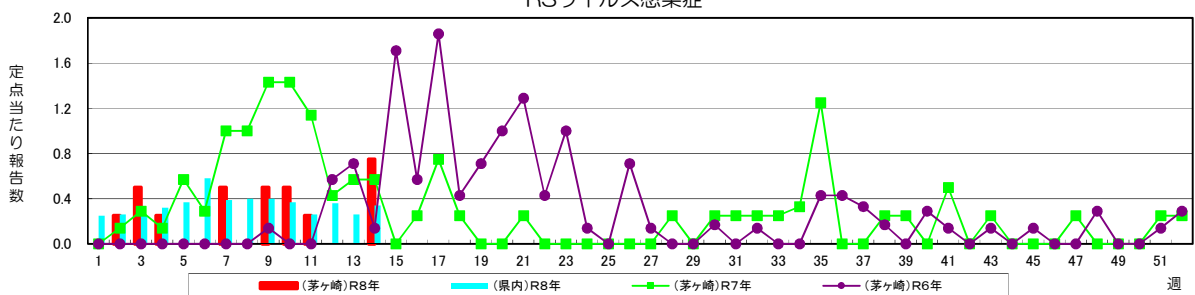
インフルエンザ



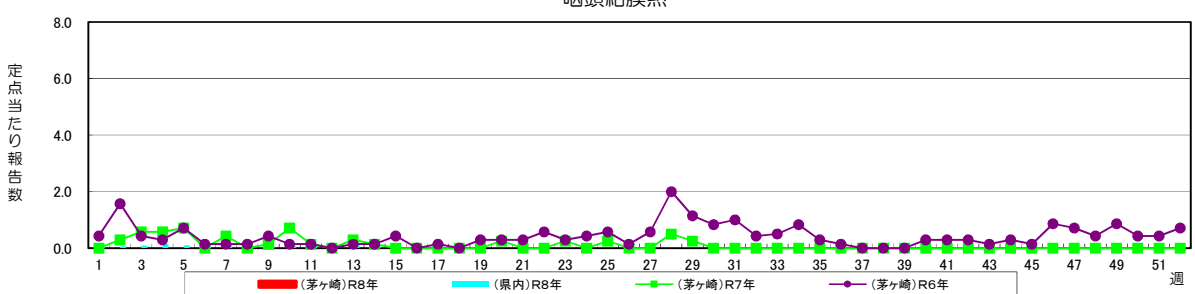
COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)



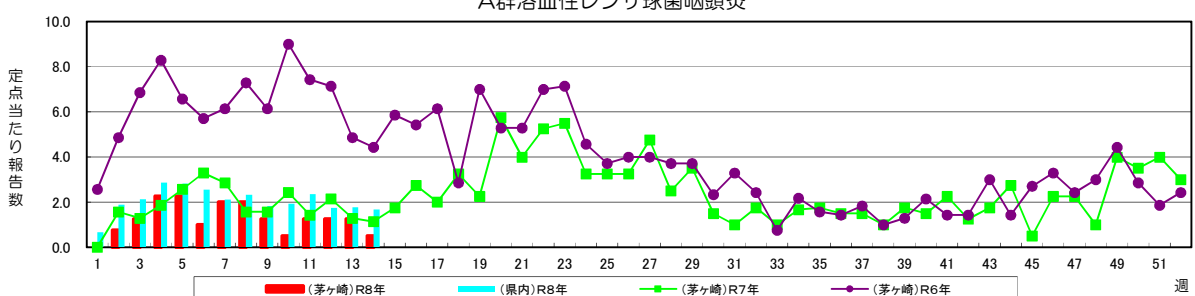
RSウイルス感染症



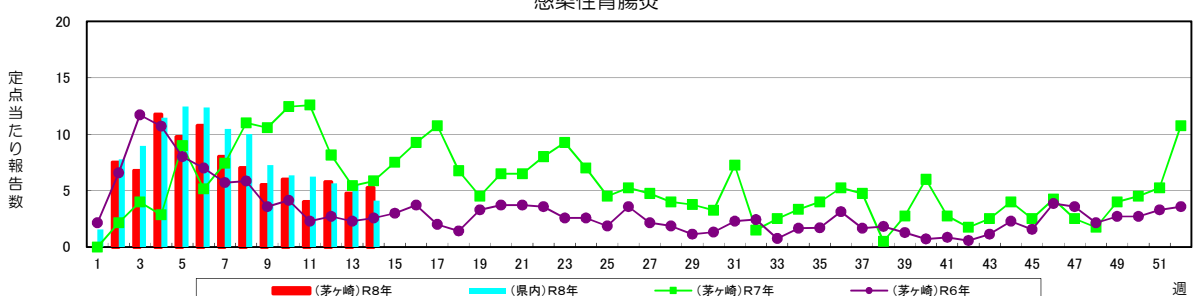
咽頭結膜熱

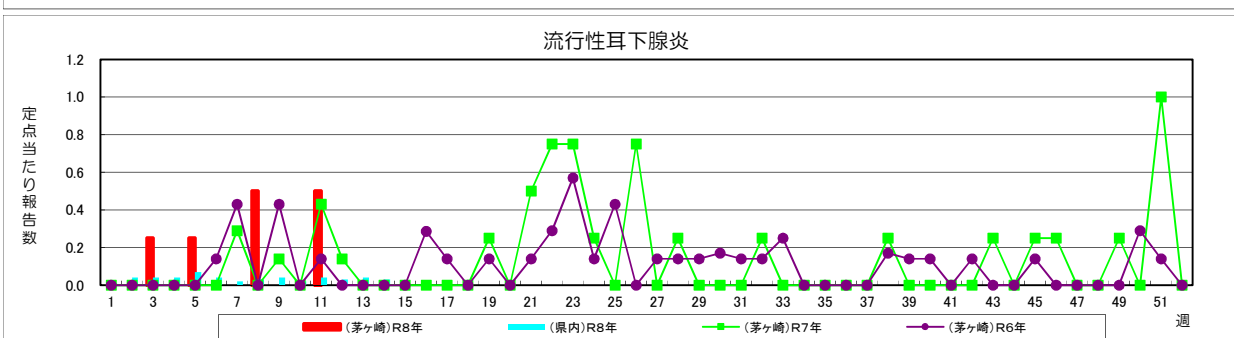
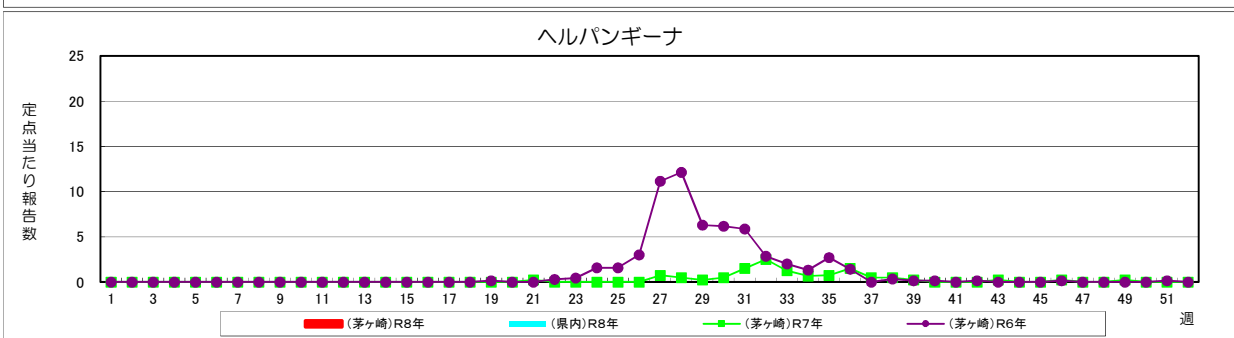
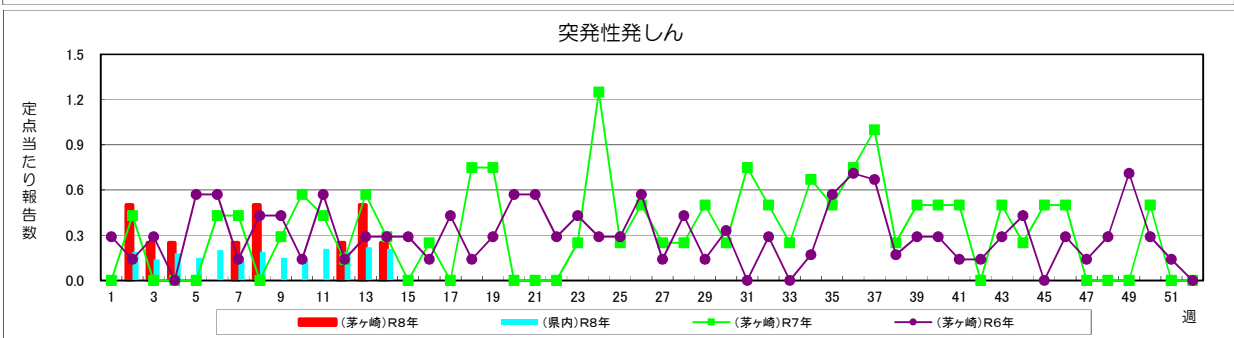
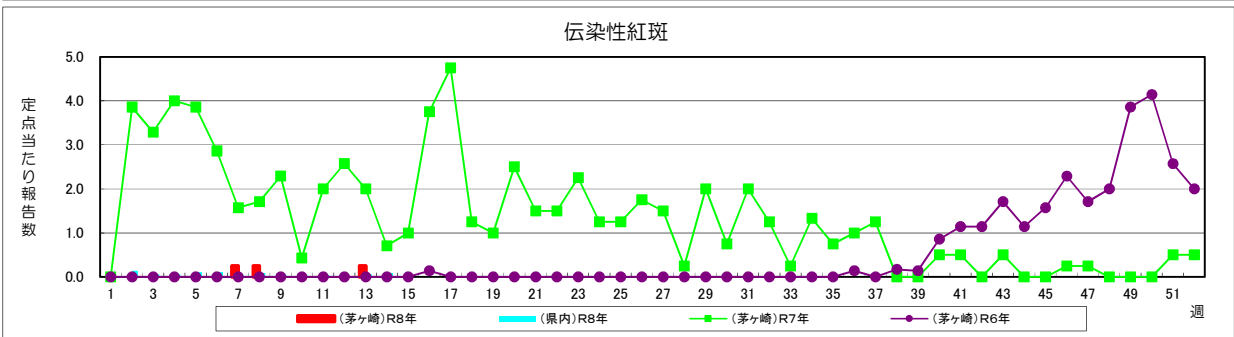
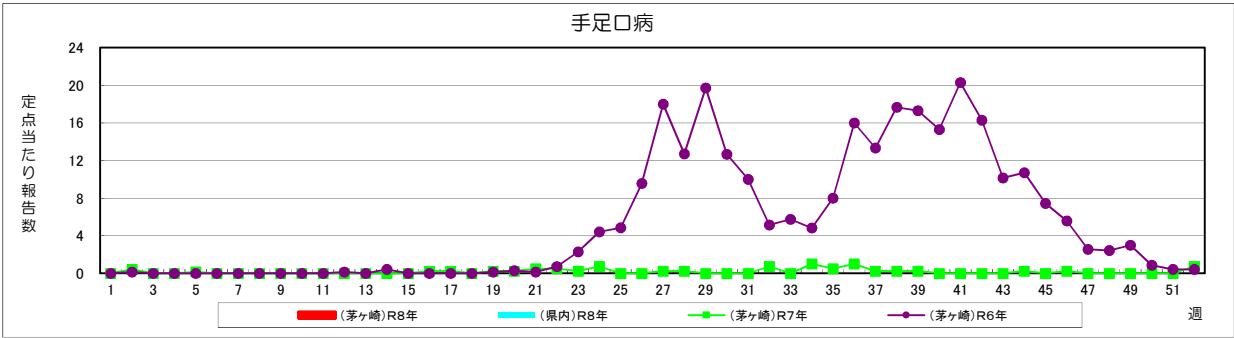
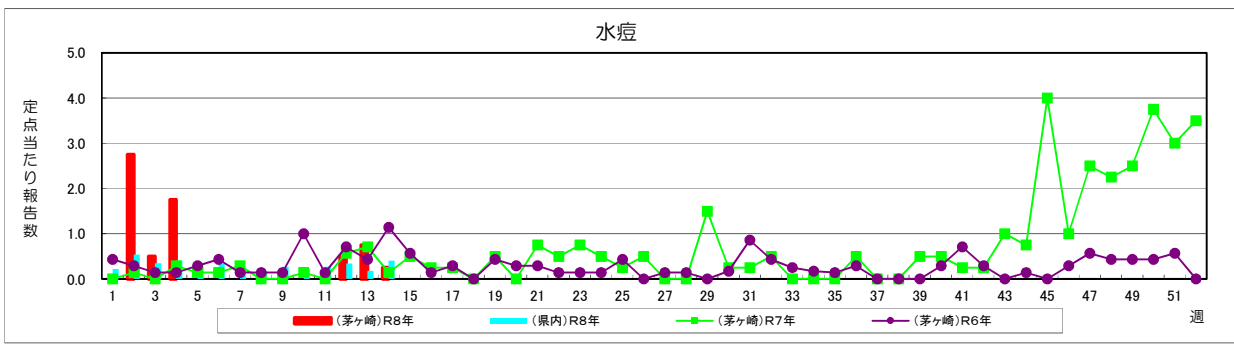


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

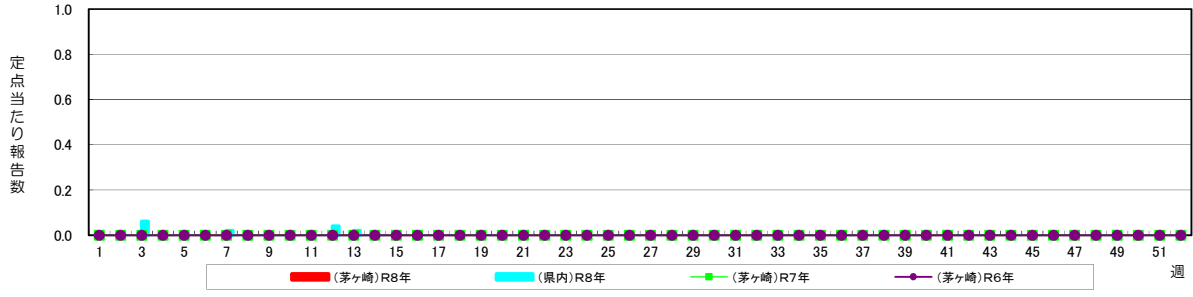


感染性胃腸炎

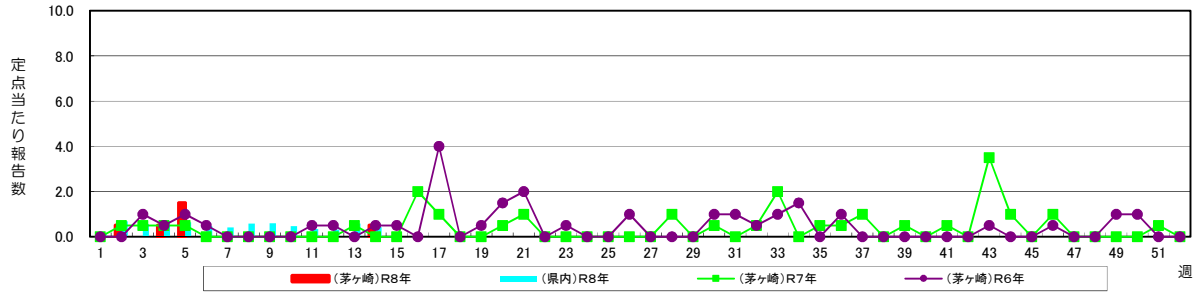




急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症(ARI)

